

都市再生整備計画(第1回変更)

かんべ かわのちく
神戸・河曲地区

みえ すずか
三重県 鈴鹿市

平成20年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	三重県	市町村名	鈴鹿市	地区名	神戸・河曲地区	面積	266 ha
計画期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度	交付期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度				

<p>目標</p> <p>大目標:安心安全で防災機能の高い市街地の形成と、地域の個性と暮らしの利便性を高めるまちづくり [目標1]防災拠点である新市庁舎建設に伴う、アクセス道路・生活道路の改善による利便性の向上を図る。 [目標2]側溝暗渠化により有効幅員を確保することにより、学校施設が集中する本地区の通学者をはじめとする歩行者の安全な道路環境を整備する。 [目標3]歴史的資源を活かし、市民文化・市民交流の拠点となる場を整備する。</p>
<p>目標設定の根拠</p> <p>まちづくりの経緯及び現況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鈴鹿市のほぼ中央に位置し、地区東部に県土軸である国道23号線、地区南部に鈴鹿中央線、地区の中央を南北に県道四日市鈴鹿線が通っている。 ・鉄道は近鉄名古屋線が伊勢若松駅から分岐し、地区中心部に鈴鹿市駅、地区東側に伊勢鉄道鈴鹿駅があるが、特急停車駅である白子駅に比べると、乗降客は少ない。 ・昭和17年の市制施行以来、政治文化の拠点であり、神戸地区とその周辺地区である河曲地区は、市庁舎を中心として市街地の一つを形成している。 ・鈴鹿市駅周辺の密集市街地では、古くは伊勢街道の宿場町としての栄える一方で、また城下町としての顔を持ち、城下町特有の狭隘で網の目のような複雑な道路形態を多く残している。 ・現在事業が進行中である既成市街地の再編を図ることにより、モータリゼーションの発展、郊外立地化の進行による、既存商店街の空洞化を食い止めると共に文化活動、社会活動などを支援する交流の場の形成に努めている。
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成18年1月より、分散していた市庁舎を統合し、新庁舎での業務が開始され、来庁者が増加するのに伴い、庁舎周辺道路やアクセス道路の整備を行う必要がある。 ・密集市街地においては、再開発事業等や商店街近代化事業の誘導により都市機能の更新、地域型商業の活性化を図り文化交流拠点にふさわしいまちづくりを推進する必要がある。更に、定住人口を確保するため利便性、快適性、安全性に富んだ居住環境の整備が求められる。 ・地区内には保育所をはじめ、小・中学校、高等学校があり、通学路の道路改善が急務である。 ・今後想定される東海、東南海、南海地震の発生される本地域で、災害時に迅速に対応できるよう防災拠点としての機能を発揮させるため、新市庁舎の周辺整備を行う必要がある。
<p>将来ビジョン(中長期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢街道や神戸城跡など歴史的資源を活用し、再開発事業や地区計画の推進等により、個性ある街並づくりと地域商業の活性化を図るとともに、市民交流等の推進に努める。 ・地区内に立地するジェフリー鈴鹿、文化会館、図書館、社会福祉センター、三重県北勢県民局鈴鹿庁舎などや市役所庁舎のネットワーク化により、市民文化・市民交流の拠点地域の形成に努める。 ・現在進行中である既成市街地の再編事業と新市庁舎周辺整備を一体的に行い、グレードアップした市街地を構築する。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
道路事情満足度	%	アンケートで「鈴鹿市の道路事情に満足している」と答えた人の割合	庁舎周辺の環境整備を行うことにより、「道路状況に満足している」人の割合を増加させる。	29.6	H15	30	H22
交通事故件数	件/年	地区内の交通事故件数	庁舎周辺の環境整備と生活道路の改良を行うことにより、地区内の交通事故件数を10%減少させる。	60	H16	54	H22
イベント参加延べ人数	人/年	地元商店街主催のイベントにおける参加延べ人数	人が集い交流が生まれる地元商店街主催のイベント参加延べ人数の5割増をめざす。	1,200	H16	1,800	H22
市民の安心安全度	%	アンケートで「鈴鹿市を安全・安心と思う」と答えた人の割合	防災対策関連事業の整備を行うことにより、「安心・安全と思う」人の割合を増加させる	41.4	H16	45.0	H22

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1: 防災拠点である市庁舎を核とした周辺環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市庁舎から鈴鹿中央線へ接続する既設道路であるが、周辺地区の都市化の進展による交通量の増加に伴う交通混雑解消のため、車がスムーズに対抗できる幅員の確保と歩行者の安全確保のために整備を行う。また、来客者が増えることから駐車場整備を行う。 ・新庁舎を核に、交通車両の円滑な道路網と近隣住民の安全な歩行空間を整備する。 ・大規模災害に対応するため身近な避難地に指定された公園にソーラー式の公園灯を設置し、停電時での避難地への誘導を円滑にする。 ・地域防災計画に避難所として指定されている集会所等について、その耐震補強工事を行うことにより緊急避難所としての機能を高め、市民の防災意識の高揚及び大地震発生時における生命の安全と安心を確保し、災害に強い街づくりの推進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ■基幹事業 道路 神戸一丁目70号線道路整備事業 ■基幹事業 道路 神戸一丁目70号線道路整備事業(庁舎前) ■基幹事業 道路 神戸一丁目77号線道路整備事業 ■基幹事業 地域生活基盤施設 新庁舎駐車場整備事業 ■基幹事業 高質空間形成施設 ソーラー式公園灯設置事業 ■基幹事業 地域生活基盤施設 緊急指定避難所指定集会所耐震補強事業
<p>整備方針2: 通学者や歩行者など交通弱者の安全の確保する生活道路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鈴鹿市では、過去に人口10万人当たりの交通事故死者数が全国ワースト2位となったのを受け、交通安全対策についての取組みを重要課題のひとつとして位置づけている。こうした中、全国ワースト上位からの脱却を図ることはもちろん、市民の生命を守るため、道路整備や交通安全施設整備の推進を行っている。この神戸地区においても、新庁舎により来客数が増し交通量も増え、また学校などの教育施設が多く分布する地区であるため、多くの交通弱者の安全を確保するため道路整備を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ■基幹事業 道路 神戸一丁目70号線道路整備事業 ■基幹事業 道路 神戸一丁目70号線道路整備事業(庁舎前) ■基幹事業 道路 神戸一丁目77号線道路整備事業 ■基幹事業 道路 十宮一丁目201号線道路改良事業 ■基幹事業 道路 須賀一丁目286号線道路改良事業 □提案事業 地域創造支援 神戸八丁目42号線道路改良事業
<p>整備方針3: 拠点の場の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内に集積する歴史施設や文化施設を活かした個性的な商業地の形成を図るとともに、市民交流、世代間交流の推進に努める。 ・男女共同参画社会に向けてのイベント・地元商店街及び地域住民によるイベント等人が集い交流が生まれ賑わいを推進するため、ジェフリー鈴鹿(鈴鹿市男女共同参画センター)に駐車場を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■基幹事業 地域生活基盤施設 ジェフリー駐車場整備事業

その他

※防災拠点としての庁舎と防災意識の啓蒙活動

・新庁舎は、耐震性の高い構造であり、非常用自家発電機、ヘリコプターの緊急救助用スペースを設置するなど、大震災などの災害時には防災の拠点となる。庁内に防災に関するスペースが確保され、完成するのを機に、市民への安全・安心感を高めるよう周知を行う。

※神戸地区のまちづくり

・昭和59年より、神戸地区市街地総合計画及び鈴鹿市特定商業集積基本構想の承認を受けて、鈴鹿市の3核(神戸・白子・牧田地区)のひとつである神戸地区の再生のため公共と民間の協働型のまちづくりが進められている。神戸地区のまちづくりは、歴史性の高い市街地として再生を図るために、目標を「歴史とふれあいのまち「鈴鹿かんべの宿」の再生」と掲げている。また、自治会活動や商店街活動などの地元住民の主體的な合意形成のもとに神戸地区まちづくり協定を定め、街路事業、商店街近代化事業、市街地再開発事業を連携して実施している。さらに範囲を広げる形で、新庁舎周辺地区の整備を行い、より一層のグレードアップを図っていく。

□提案事業 地域創造支援 旧市庁舎解体事業

・新庁舎建設に伴い、旧庁舎(別館第5:総務部市政情報課・分館第4:産業振興部・その他)の取壊しを行う。なお、取壊し後については、別館第2は来客用駐車場、別館第5は敷地側に歩道を新設し、分館第4は安心安全で防災機能の拠点であるこの地区の特性を活かし、隣接する消防本部の用地として活用し、用途は消防活動訓練用地、仮設ヘリポート用地等を整備する。

□提案事業 地域創造支援 公共施設AED設置事業

AED(自動体外式除細動器)とは

心臓の突然の停止の際に電気ショックを与え、心臓の動きを戻すことを試みる医療機器。心臓が停止した場合、一刻も早く人口呼吸、心臓マッサージを行うとともにAEDによって心臓に電気ショックを与えることが必要となる。日本では、従来医師しか使用できなかったが、2003年に救急救命士に、2004年7月に一般市民に使用が認められるようになった。これにより、鈴鹿市でも学校や公民館などの公共施設に設置し、迅速な救急措置を行う。また、一人でも多くの市民がAEDに関する知識を得るため講習会も開催していく。

○関連事業 堅町十日市線外1線街路事業

・都市基盤整備の遅れている地区中心市街地の活性化を図るため、街路整備を行い商業環境の活性化及び居住者の生活環境整備を行っている。

○関連事業 神戸地区電線類地中化事業

・魅力ある街並み、安全で快適な道路空間を確保するとともに、街路事業に併せて電力や電話等の電線類の地中化を図り、景観に配慮したまちづくりを行っている。

○関連事業 神戸再開発事業(AS地区・BN地区・C地区)

・神戸地区の市街地整備の一環として、商店街活性化と居住環境の改善を図り、個性的で魅力ある街の再生を行っている。

○関連事業 震災初動対応資機材配備事業

・鈴鹿市の基幹避難所である神戸小、神戸中学校に停電対策として照明灯4基、自家発電機1基、リヤカー2基を配備する。

○関連事業 神戸商店街活性化事業

・地元商店街において、21世紀にふさわしい、女性と中高齢者等だれにもやさしく活動することを念頭に、2か月に1回、「石橋楽市」を開催している。

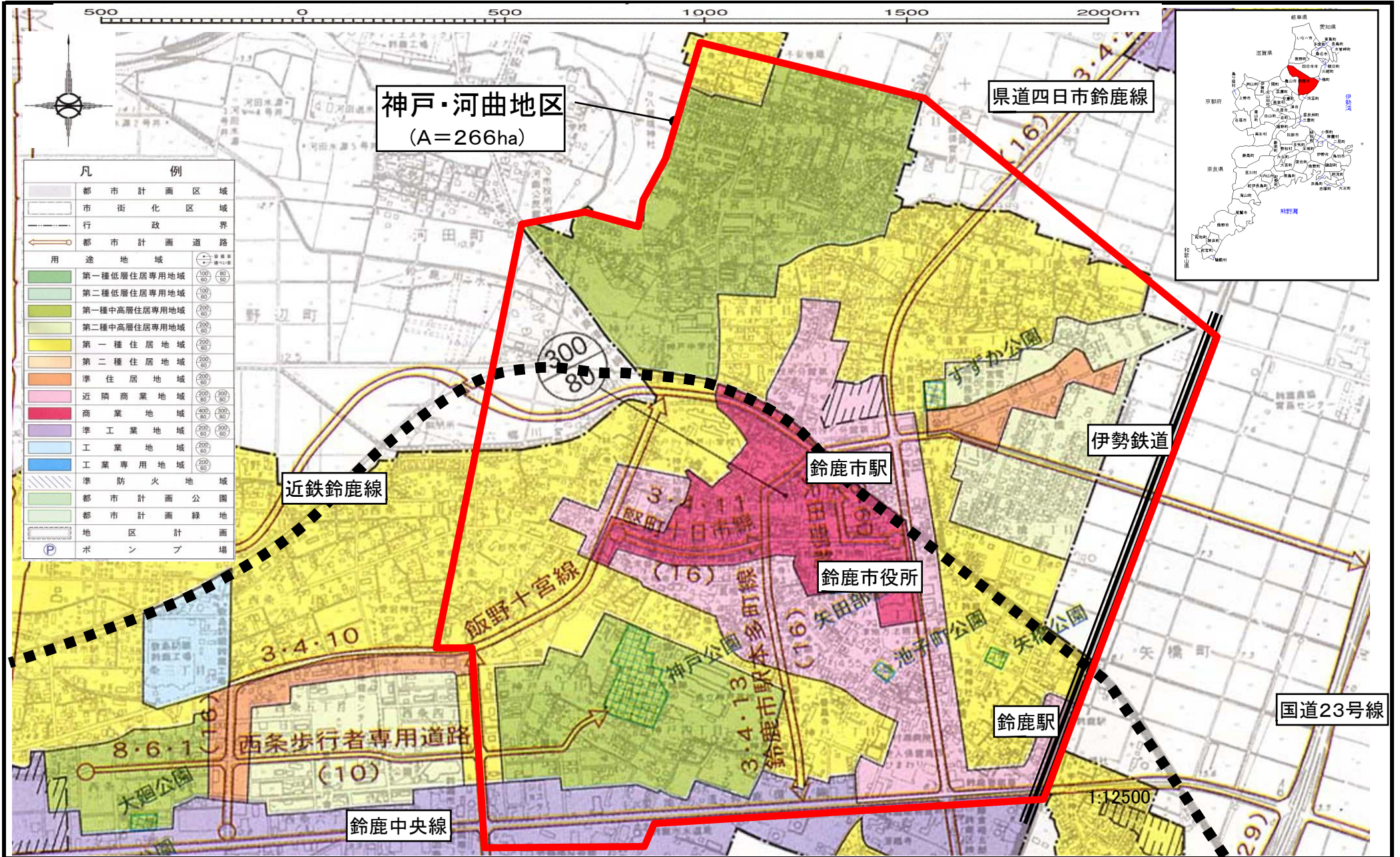
交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	565	交付限度額	226	国費率	0.4
---------	-----	-------	-----	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
細項目	開始年度					終了年度	開始年度	終了年度						
道路		神戸一丁目70号線	鈴鹿市	直	480m	H15	H22	H18	H22	595	410	410	0	410
道路		神戸一丁目70号線(庁舎前)	鈴鹿市	直	210m	H18	H18	H18	H18	24	24	24	0	24
道路		神戸一丁目77号線	鈴鹿市	直	130m	H18	H19	H18	H19	20	20	20	0	20
道路		十宮一丁目201号線	鈴鹿市	直	270m	H19	H22	H19	H22	20	20	20	0	20
道路		須賀一丁目286号線	鈴鹿市	直	300m	H19	H22	H19	H22	16	16	16	0	16
公園														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム		—			—									
地域生活基盤施設		—	鈴鹿市	直/間	—	H18	H20	H18	H20	50	50	46	4	46
高質空間形成施設		—	鈴鹿市	直	—	H18	H18	H18	H18	1	1	1	0	1
高次都市施設		—			—									
既存建造物活用事業		—			—									
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										726	541	537	4	537
提案事業														
事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
細項目	開始年度					終了年度	開始年度	終了年度						
地域創造支援事業	道路改良事業	神戸八丁目42号線	鈴鹿市	直	100m	H19	H20	H19	H20	4	4	4	0	4
	旧市庁舎解体事業	別館第5・分館第4庁舎他	鈴鹿市	直	2,301㎡	H18	H18	H18	H18	23	23	23	0	23
	公共施設AED設置事業	公共施設	鈴鹿市	直	5基	H18	H18	H18	H18	1	1	1	0	1
														0
事業活用調査		—			—									0
		—			—									0
まちづくり活動推進事業		—			—									0
		—			—									0
合計										28	28	28	0	28
													合計(A+B)	565

神戸・河曲地区(三重県鈴鹿市)	面積 266 ha	区域 十宮1~4丁目, 須賀1~3丁目, 矢橋1~3丁目神戸1~9丁目, 神戸本多町, 飯野寺家町
-----------------	--------------	--



カンベ・カワノ
神戸・河曲地区(三重県鈴鹿市) 整備方針概要図

目標	安心安全で防災機能の高い市街地の形成と、地域の個性と暮らしの利便性を高めるまちづくり	代表的な指標	道路事情満足度 (%)	29.6 (15年度) → 30 (22年度)
			交通事故件数 (件)	60 (16年度) → 54 (22年度)
			イベント参加延べ人数 (人)	1,200 (16年度) → 1,800 (22年度)
			市民の安心安全度 (%)	41.4 (16年度) → 45.0 (22年度)

